

静岡市の新しいブカツ「シズカツ」

～学校部活動からの円滑な地域展開を目指して～

令和5年10月23日
静岡市教育委員会

静岡市

静岡市の人口

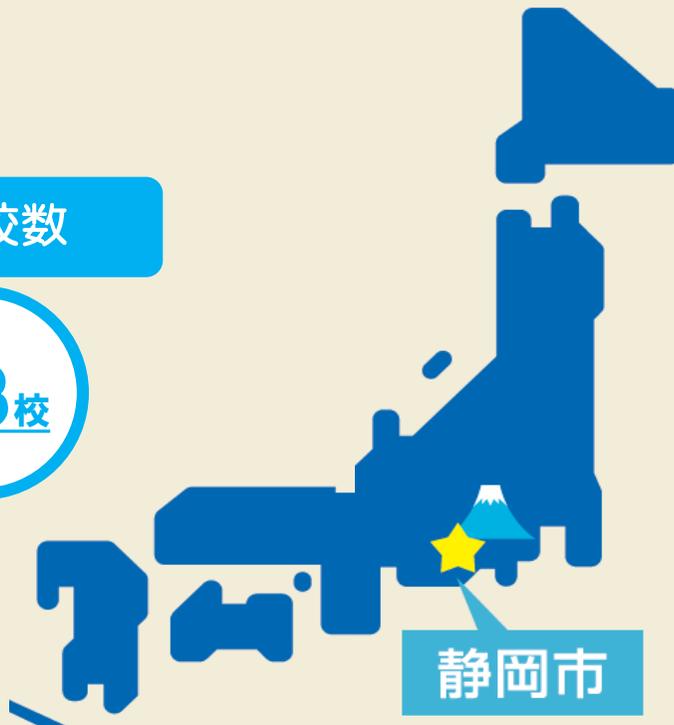
約**69**万人

中学校数

43校

中学校 生徒数

約**1.5**万人



静岡市教育委員会事務局

教育センター

体育授業

学校教育課

教職員課

働き方改革

教育課題係とは、

学校教育の課題への対応に関する事業を取り扱う。

現在は部活動改革の他、英語プロジェクト、学校アップデート事業を担当。過去には日本語教育やGIGA等の事業化を担当。

教育課程係

教育課題係

管理係

情報提供 相談

市長部局

スポーツ振興課

文化振興課

設置趣旨

本市の部活動のあるべき姿を明確にし、有意義な活動とするため

1 部活動 = 学校の経営方針に基づき実施される教育活動

2

「目的：子どもたちの人間形成」

主体性

可能性

社会性

結果のみを
目的としない

全ての子どもに
とって有意義な
活動にしたい

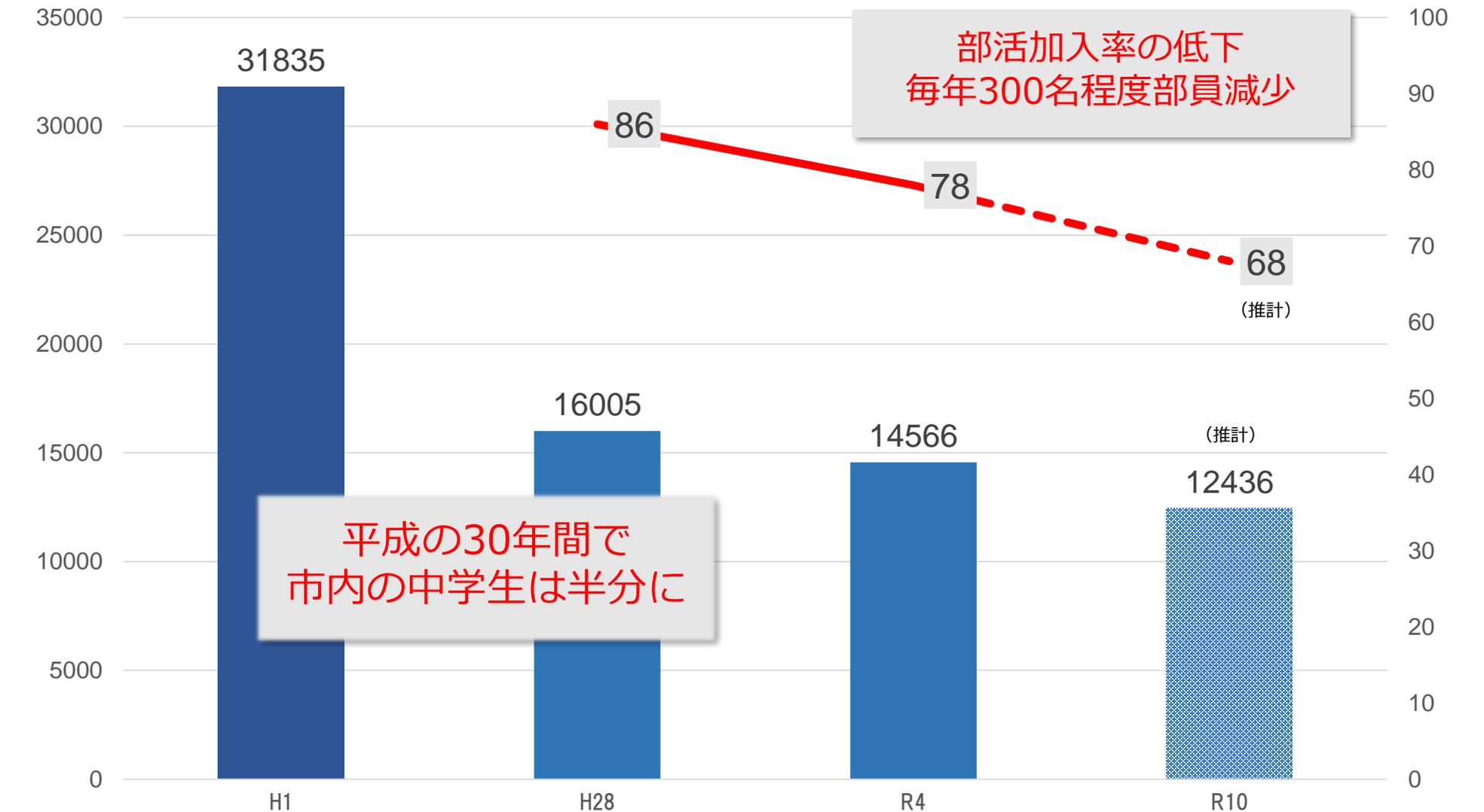
3

「指導の5原則」

- ① 生徒が**主人公の部活動**とする
- ② 体罰や暴言の禁止を徹底する
- ③ 安全管理を徹底する
- ④ 発達段階や健康状態を考慮した適切な活動量
- ⑤ 指導者も生徒も達成感をもって取り組める

平日：火、水、金 **2時間程度**
休日：どちらか1日 **3時間程度**

生徒数、部活動の加入率の推移



平成の30年間で
市内の中学生は半分に

部活加入率の低下
毎年300名程度部員減少

学校数は変わらない中、市内の中学生は大幅に減少
→学校規模の縮小に伴い、部員数・部活動数も減少

(%)

志向の混在



部員の減少

種目の選択肢



指導体制※

※部活動指導員の雇用条件の厳格化により、本業をもつ地域人材の参画が困難。配置率は全部活の8%であり 高齢化（平均67才）の傾向にある。





文部科学省

休日の地域移行
(受け皿)

R5~

休日の部活動の地域移行

平日	休日
部活動	?

学校単位での部活動のままでは、
将来にわたって活動を維持することは難しい

ここまでの取組の流れ

課題

「現状の部活動の抱える課題は？」

「改めて部活動の良さ、残したい価値って何？」

方向性

「単に休日をアウトソーシングすれば課題解決や価値の維持につながるか？」

モデル

「どのようなモデルが課題解決になるのか？」

移行

「現状からモデルへの円滑な移行方法は？」

改革を進めるにあたり

アンケート
回答
延べ7581名

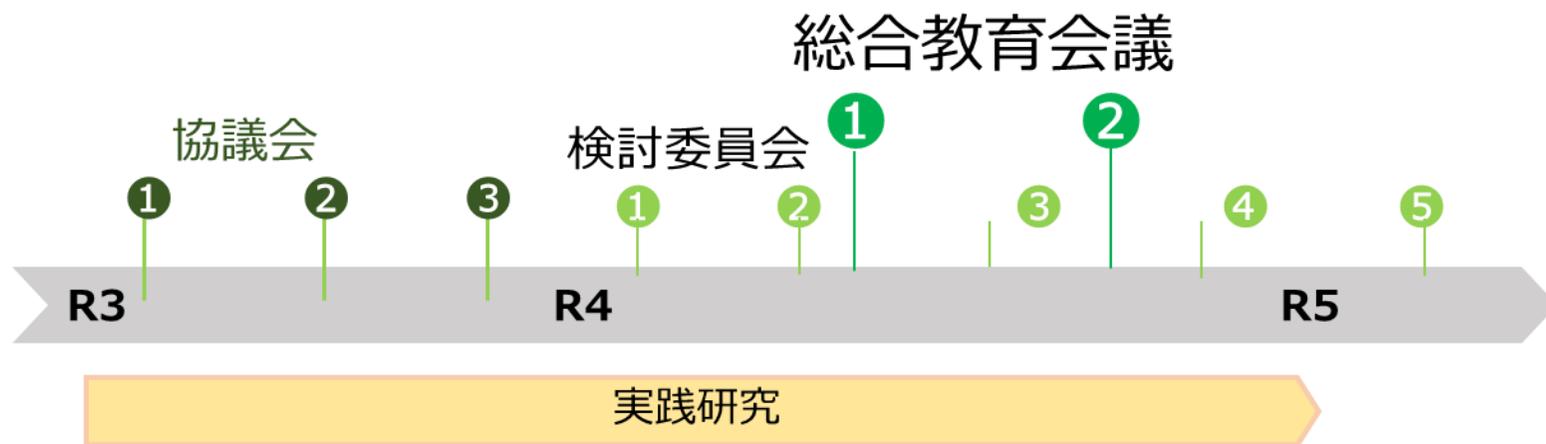
生徒
2395名

児童
1371名

保護者
2399名

教員等
1416名

会議
関係者
ヒアリング
実践研究

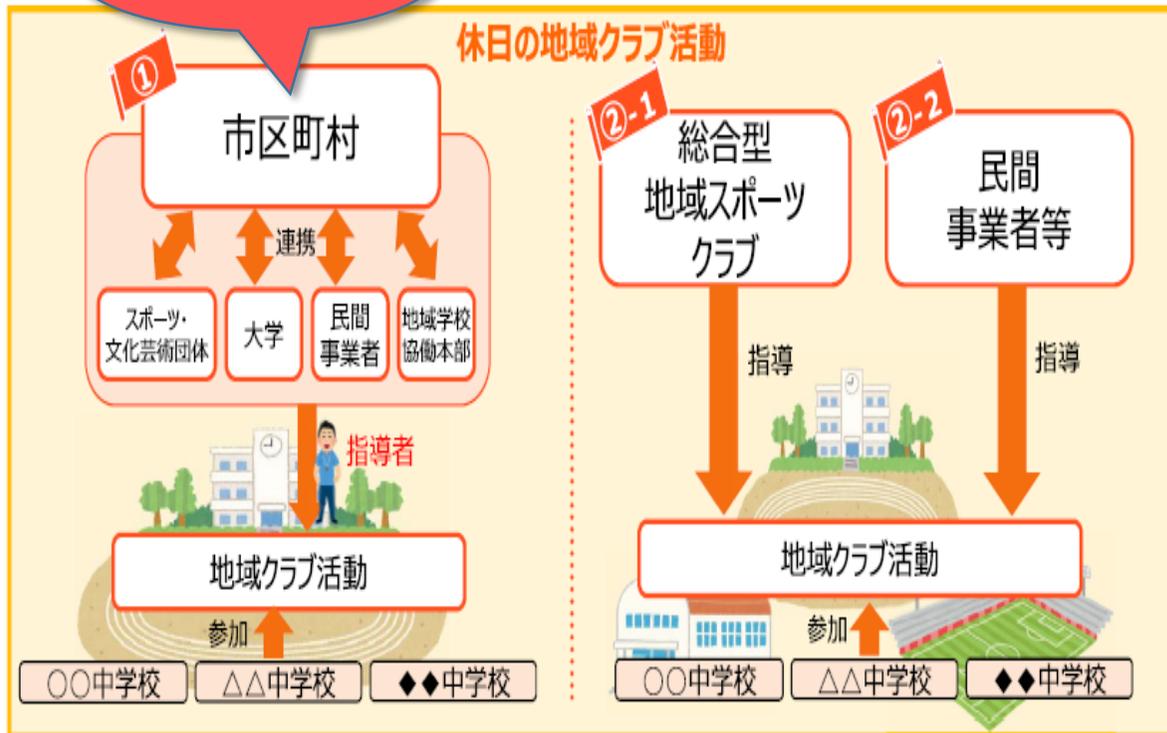


2年間に渡り、延べ7581名の生徒や学校、保護者へのアンケート、実践研究、種目団体への調査をもとに「部活動改革検討委員会」「総合教育会議」等を実施し、静岡市の方向性を決めました。

静岡市が考える 部活動改革とは？

静岡市

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」より要約



部活動に代わる地域クラブ活動

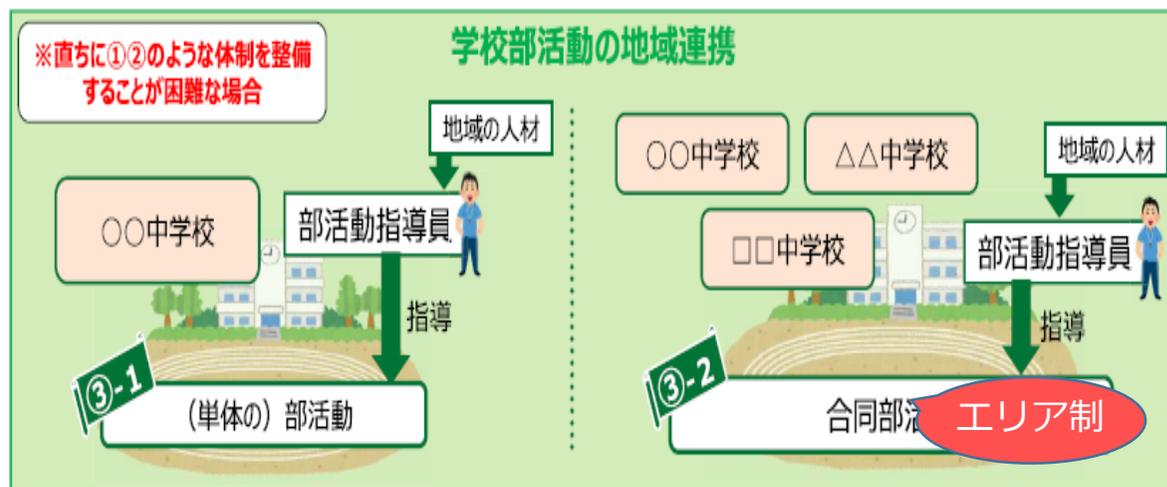
○体制整備の例

①市区町村が運営団体となり、各種団体、民間等と連携

②地域の多様な運営団体に取り組む体制

部活動の地域連携

○体制を整備することが**困難な場合**には、**当面**、学校部活動の地域連携として、必要に応じて**拠点校方式による合同部活動**や**部活動指導員の確保**



現在

学校単位の部活動(43校約430部)



学校部活動に代わる、新しい静岡市のブカツ「シズカツ」

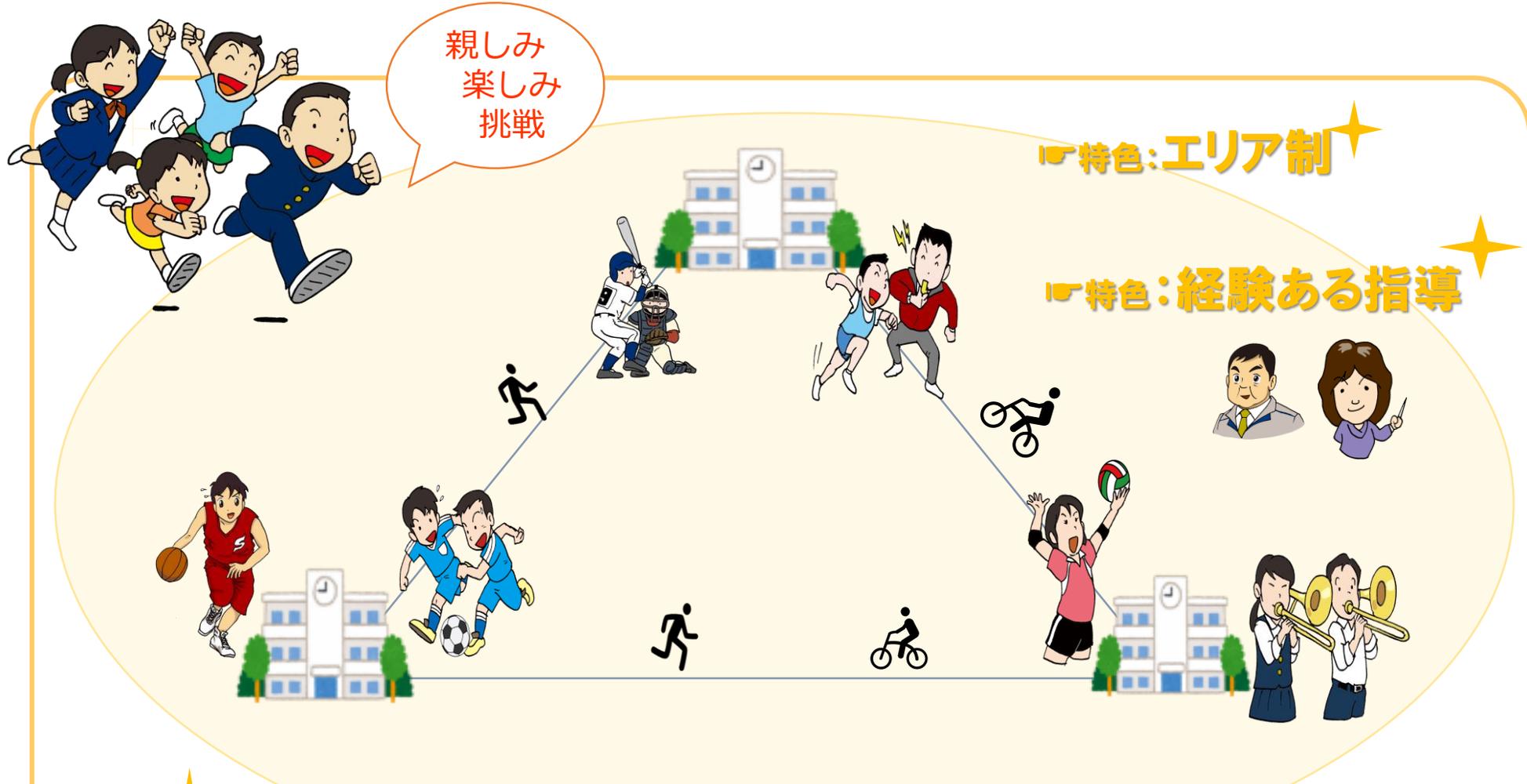
市の事業として
学校の枠組みを越えた
市内15エリアで
約200クラブを展開



親しみ
楽しみ
挑戦

特色: エリア制

特色: 経験ある指導



身近な活動機会

成長の場

居場所・出会い

スポーツ・文化活動の機会

- 家庭状況に左右されない
- 生涯にわたって親しむきっかけ

+

学校規模による機会格差解消
専門性、安全性の保障

人間形成

- 仲間とともに主体的・協働的な活動

+

多様な大人からの学び

居場所づくり

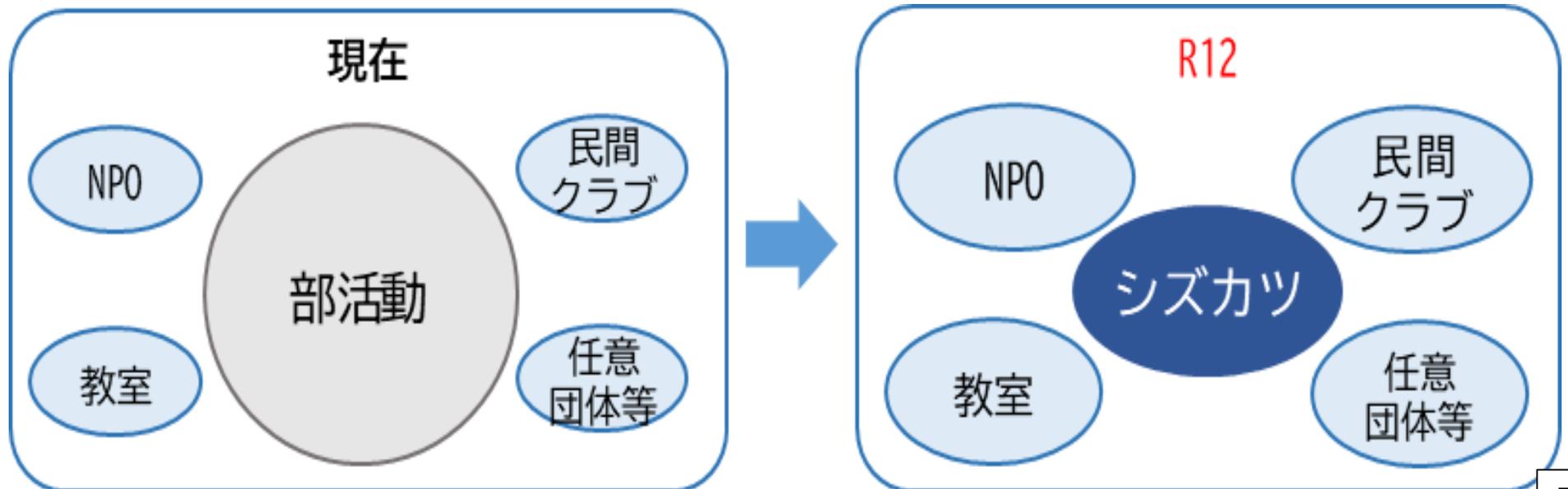
- 共働き家庭、核家族化の中、
有意義な「居場所」

+

地域のコミュニティ

方向性

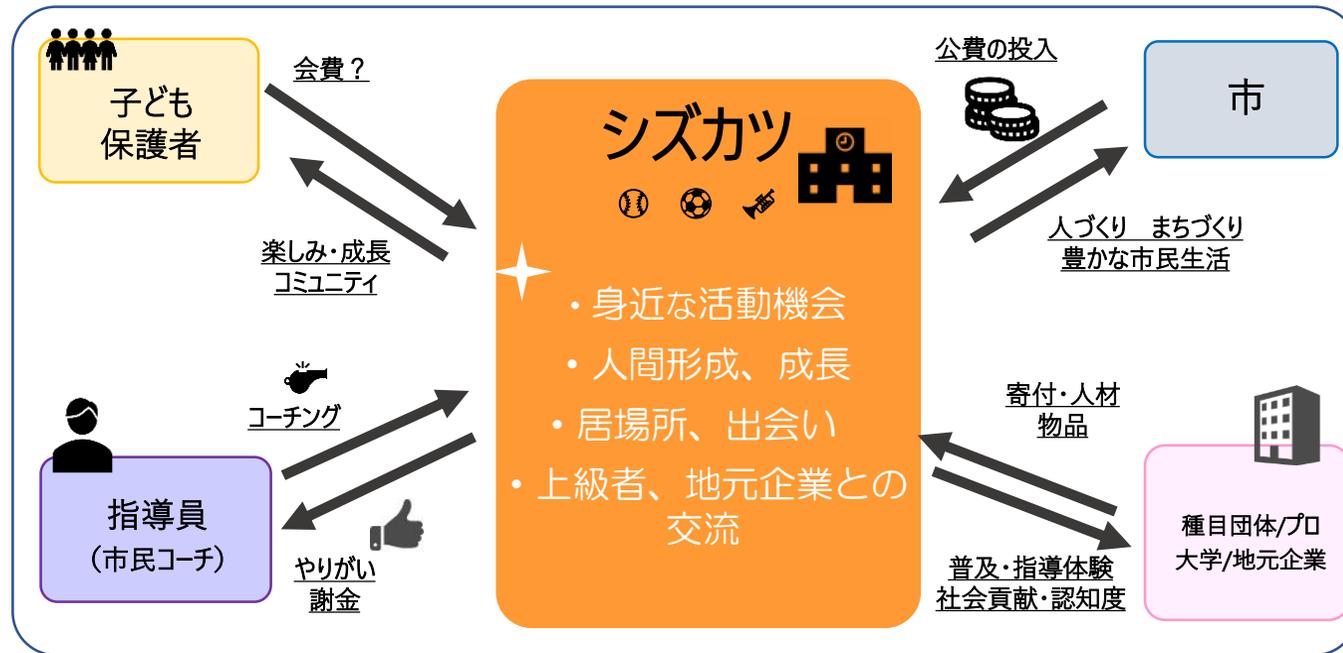
- ◆ 将来にわたって、子どもたちの活動機会を確保するため、本改革によって地域に多様な活動場所を創出し、**子どもたちが自身の興味関心や志向に応じて選択できる環境の構築**を目指す。
- ◆ その選択肢の一つとして、市が主体となり、地域や学校の協力を得ながら**3つの価値を叶える地域クラブ「シズカツ」**の全市展開を図る。



「シズカツ」の目指す姿

家庭状況や学校規模に左右されず、子どもたちの豊かな体験や学びを保障

- ◆学校の枠組みを越えた仲間と共に“親しみ、楽しみ、挑戦する”活動を実施
- ◆研修を受けた指導者が見守る中、子どもたちの主体的、協働的な活動を実施



イメージ

未加入

現在の部活動

- ・週4回
- ・教員の指導
- ・部費
- ・志向の混在

民間クラブ等

- ・活動量の制限なし
- ・専門の指導者
- ・適正な対価
- ・競技志向が多い

シズカツ

エンジョイ・
イベント

民間や地域団体が目的に応じて
体験機会を提供

バランスコース

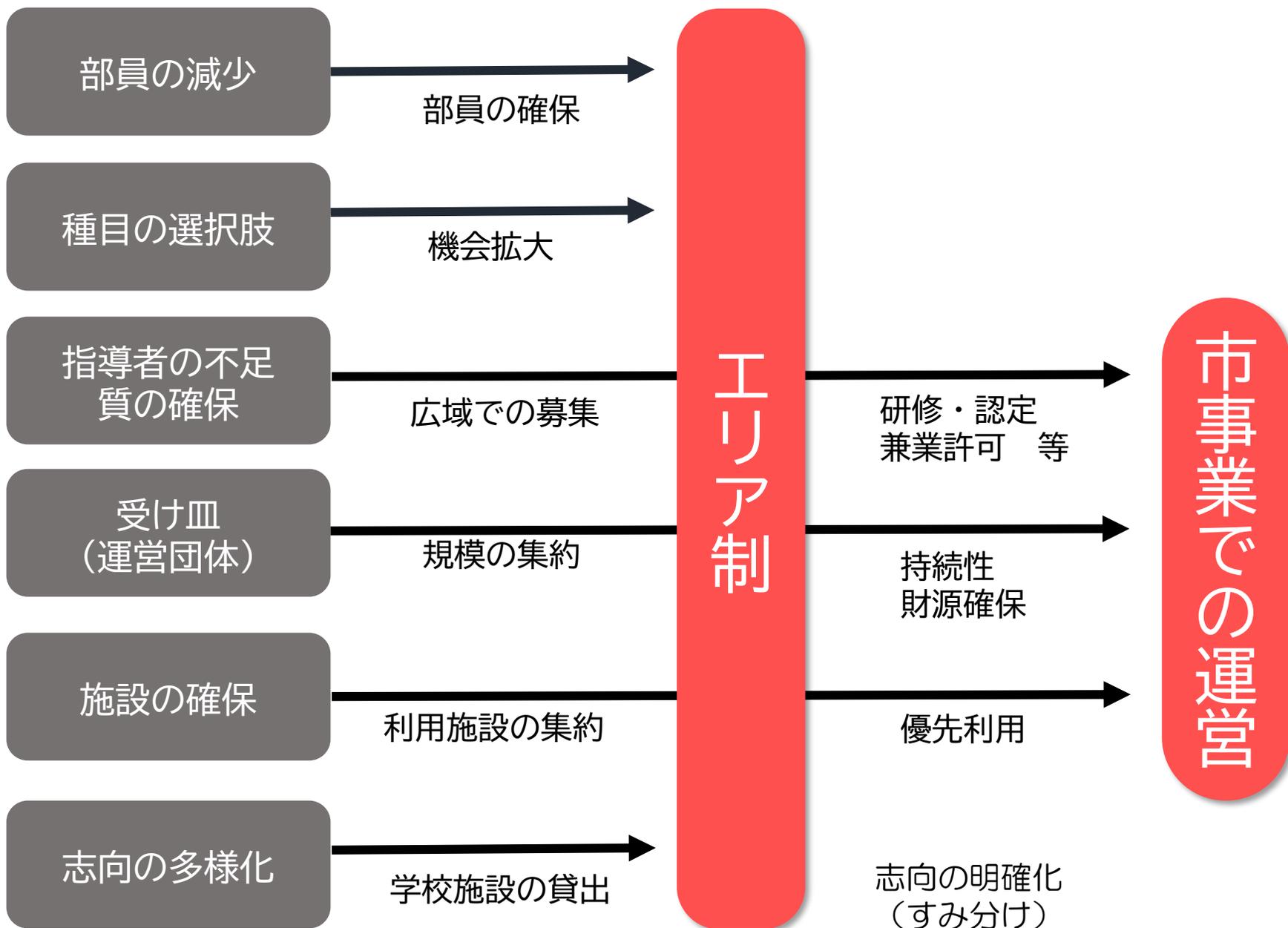
- ・学校施設での活動
- ・市民コーチの指導
- ・低廉な費用
- ・地域単位の編成
- ・参加大会の精選

行政と地域人材、保護者、
民間が協働し持続可能な
スポーツ文化芸術活動の提供

専門コース
(競技力向上)

民間の経営による専門的な
活動の提供

課題に対応するシズカツの方策



Point 1

市民参画の機会拡大

中学校・小学校

退職教員
OB/OG 保護者

- ・地域とのつながり
- ・教員の指導力の活用

スポーツ協会等

資格保持者
スポーツ施設等の利用者

- ・スポーツや文化芸術活動の促進

大学

教育学部生
部活動・サークル

- ・学生の指導経験
- ・地域とのつながり

種目団体

協会会員
資格保持者

- ・種目の普及振興
- ・指導者のやりがい

自治会等

地域住民

- ・地域への愛着
- ・地域のコミュニティ
- ・住民のやりがい

地元企業

部活動応援隊76社
賛同する企業

- ・地域貢献、活性化
- ・従業員のワークライフバランス

参加者にも
メリット

Point 2

適正な指導対価

Point 3

複数体制
(2名体制)

Point 4

講習会の複数回実施

Point 5

種目リーダーの配置

Point 6

マネージャーの配置

Point 7

兼業の許可

現状の「部活動」から「シズカツ」へ
どのように展開していく？

R5.4 学校単位からの転換

R8.8

R12

エリア制部活動の推進

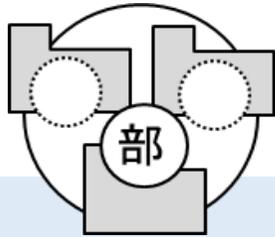
(エリア内の学校判断で実施)

シズカツの休日展開

(全市にて実施)

シズカツの全日展開

(全市にて実施)



エリア制部活動



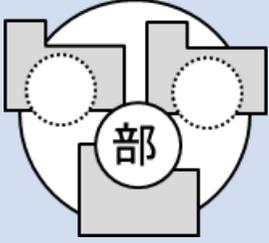
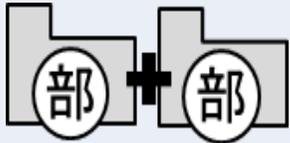
学校は違うけど部活は一緒



「学校単位」から「エリア単位」で部活を設置



「エリア制部活動」と「合同チーム」のちがい

	参加生徒	大会等
エリア制部活動 	エリア内の生徒 部活動がない学校の生徒も 参加可能	<ul style="list-style-type: none">・隣接校を1つのエリアとして新たな部として創設。・単一校の部活動と同様。
合同チーム 	部活動が設置されている 学校の生徒のみ	<ul style="list-style-type: none">・大会出場のための一時的な救済措置。・部員数の変動により見直す必要がある。

なぜ、エリア制？ 部員がいるから必要ない？

- ・学校の枠組みを超えた「地域の中で学び育てるシズカツ」への過程。
- ・目指す先には、学校規模によらず**機会を保障**すること。学校以外の仲間や指導者など地域の多様な人との出会い**成長する場、居場所づくり**。



初年度 25部を創設 次年度は40部程度に拡大予定

2023/8/9

部活無

エリア制

シズカツ

R6想定

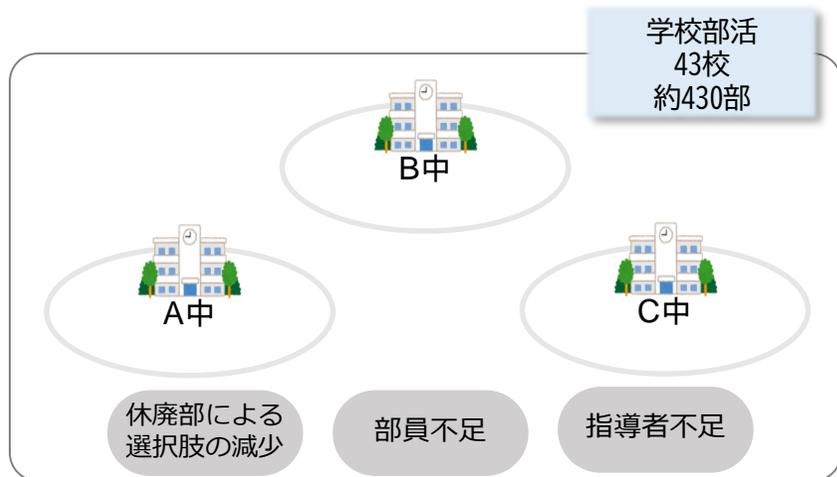
未設置

廃部予定

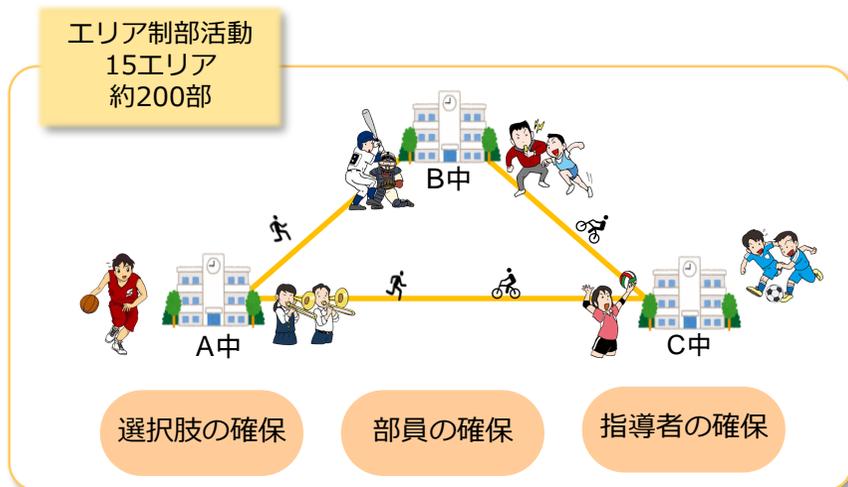
チーム名	野 球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣 道	柔道	水泳	吹奏楽	美術部	他
葵① 城内東	13	23		34	21	23	19	9				17	10	25			27	22	英語・科学
	13	16		36	19	8		16	26	23	21	29	12	22	1	23	43	49	体操 新体操 ハンド 囲碁
葵② 観山安東	16	25		16	13	14	15	24		14	18	19	15	21			32	31	
	12	29		20	19	13	17	20		29	23	26	18	14			38	35	新体操13
葵③ 西奈亀爪	10			16	18	7	18	12			17	22					30	11	
	4	15			15	13		16		18	22	27	10				12	26	
葵④ 籠上美和 賤機		12		48			19	12			23			9	6	9	29	15	新体操
		2		16	14			13			6	12		3	4	3	19	6	
	9			17	17	8	11	15				12	8				25	28	
葵⑤ 末広安倍川 服織	14	6		23	13	13	16	19		13	19	18	14	10			24	30	
	9				8	7		11				14	16	10			8		
	11	21		26	22	12	27	19	10	17	23	17	17	11	2	0	28	47	
駿河① 大里中島	4	32		20	15	8	23	22	3	4	4	7	8		8		39	35	
	9	5		9		5		10	25	20	12	21	2				15	16	
オール長田	12	15	4	30	19	13	16	17		23	22	20	10	16	17		30	30	科学 11
	10	10	11	18	13	16	21	25		36	25	21	9	10	6		25	28	弓道 29
	6	1		26		12	2	14			10	14					23	14	
駿河③ 高松南	13	17		24	17	9	18	16		15	13	11	17	14			29	23	
	19	23	14	28	15	19	22	14			8	18	15	9			34	24	
駿河④ 東豊田豊田	24	28	11	35		17	10	20		20	23	32	10				28	43	
	2	20		18	23	8	14	13	17	37	10	15	0	18			45	31	
清水① 清水第一 清水第二	5	13				6		13		35	16		15	12			5	10	
	8	20	9	32	26	19		15		21	37	24	16	14			29	36	
清水② 清水第三 日本平 清水第四 清水第五	6	1						6			12						7	12	
	6	9		21	14	6	18	20		23	29						30		
		6			3	6					7	13	5				8		
清水③ 清水第七 清水第八	15	23	12	10	15	17	29	25		23	27	25	20	11			37	42	
	3	14			7	6		16		36	21		16				20	18	
清水④ 清水第六 清水飯田	10	22		10	5	4		13		25	10	25	17	11			28	27	
	10	7	7	23	20	16	13	17		21	24	8	7				15	20	
清水⑤ 清水庵原 清水袖師	3	6			14	4	12	10									24		
	6	9		18	14	12		13					12				19	22	
清水⑥ 清水興津 両河内 小島 浦原中 由比中	9	12			13	8	18	11			18						20	15	
	4								13								12	8	
	0	12			19	13		10	17		11						11		
	1	10			10	10		11			6						8		12

12

エリア制部活動 概要



学校の枠組みを越え
エリアでのチーム編成



概要

趣旨

少子化が進展する中、中学生が仲間と共に活動に親しめる環境を保障するため、学校間で部活動を支え合うことを可能とする。

エリアの範囲と活動場所

- 学校間の距離を基準に、市が近隣校による区分けを行う
- 原則、拠点校での活動とする。ただし、施設面や指導体制などを条件にエリア内の関係校での活動も可能

入部条件

- エリア内の市立中学校の生徒
- 「活動計画書」を確認すること
- 在籍校の活動を優先すること
- 移動は、保護者の責任とすること
- 保護者は、保護者会等の組織に加入し、生徒の活動をサポートすること

設置の条件

- エリア内の学校に設置されている種目であり施設等が整っている。
- 保護者会が組織され、活動についての支援体制がある。

設置の手順

- 関係校による協議により決定
- 生徒、保護者及び関係小学校への周知理解を図る。
- 市教育委員会へ「エリア制部活動設置申請書」「活動計画書」を提出。

事故保険

- 活動中の事故等は、指導者が応急処置し、保護者等に連絡して対応
- 移動中の事故等は、保護者の責任とするが、学校も協力して対応
- 活動・移動中の事故は、独立行政法人日本スポーツ振興センターを適用

指導体制と活動場所

- 指導引率が可能な顧問を原則2名配置する。
- 原則、一カ所で活動するが平日は各校での実施もある。※

顧問の配置	拠点校のみ	拠点校+関係校
拠点校	顧問2名	顧問1名
関係校① (既存部活あり)	連絡担当のみ	顧問1名
関係校② (既存部活なし)	連絡担当のみ	連絡担当のみ
活動場所	拠点校のみ	拠点校及び関係校①※

※顧問がいない関係校②の生徒は、平日から拠点校に移動し活動

その他

合同チームは、大会出場のための一時的な救済措置であるが、エリア制部活動は、単一校の部活動として扱われるため、計画的な活動ができ、部活動の設置されていない近隣校の生徒も参加が可能となります。

令和4年度実践研究「エリア制部活動」

Q エリア制部活動に満足していますか〈R4研究校8部〉



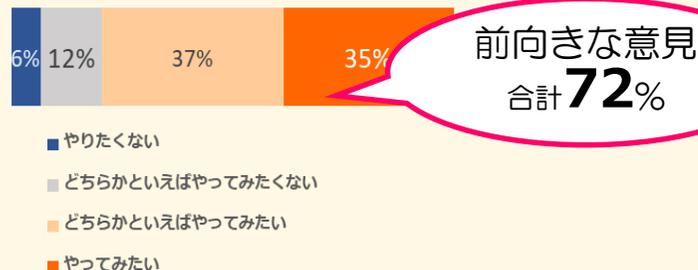
- ポジションの争いができるようになり、同じポジション同士で教え合える。
- いろいろな練習ができ、先輩とも戦える。
- どちらかの先生が必ず土日は来てくれて、課題をはっきり言ってくれる。
- 楽器が増え、音に厚みをもって演奏できる。
- 平日は一緒にできない。
- 移動の負担（練習時間が延びると迎えが）

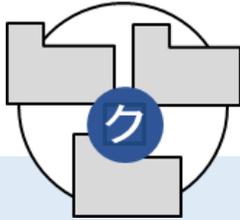
教育効果



- 困ったとき指導者同士で相談できる
- 他校の生徒とつながりを持ち、いい刺激をもらいながら切磋琢磨できる。
- アドバイスを素直に聞き入れ熱心に取り組む姿が見られるようになった
- 臨機応変に会場を選んで活動できる。
- 校内での理解が進んでいない。
- 拠点校顧問の負担がある。
- コミュニケーション不足を補う必要（平日はクロムのmeet等を活用）

Q 同じ地域で別の学校の生徒と文化スポーツ活動を一緒にやってみたいですか
(R5部活動意識調査抽出校675名回答)





シズカツ（市主体の地域クラブ）

部活動に代わる新たな活動の場

R5.4 学校単位からの転換

R8.8

R12

エリア制部活動の推進

(エリア内の学校判断で実施)

シズカツの休日展開

(全市にて実施)

シズカツの全日展開

(全市にて実施)

曜

平日

休日

平日

休日

平日

休日

活動

部活動

部活動

シズカツ

シズカツ

管理

学校

学校

市 (運営団体)

市 (運営団体)

指導者

教員



教員



モデル

エリア単位



or

学校単位



平日の活動場所は実情に応じる

エリア単位



エリア単位



or

学校単位



平日の活動場所は実情に応じる



エリア単位



本活動に賛同いただける教職員は兼業申請し指導員として参画

エリア単位



〔例 平日 17:15~19:00 休日 9:00~12:00〕

大会

単一校の部活と同等の扱いで出場 (教員引率)

地域クラブとして出場 (地域指導員引率)

地域クラブとして出場 (地域指導員引率)

市内全域で、健全な活動を保障する体制（案）

市教委

事業方針の決定、活動方針、研修内容

運営

学校

活動状況の把握
施設の管理
参加生徒への支援

各種目団体等

リーダーの推薦
指導人材の紹介
大会運営 等

保護者会

会場への移動
部費の管理 等



事務局

実施計画の作成・利用調整・指導員の任用と配置・業務管理・相談等

相談対応



情報共有



地域マネージャー

種目リーダー

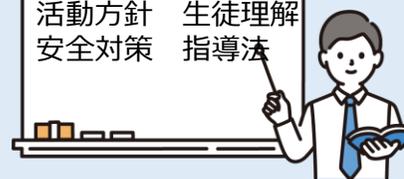
複数体制でのサポート



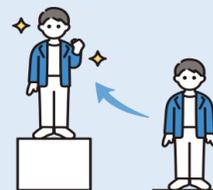
- 指導員任せにしない複数体制でのサポート
- 生徒や指導者へのフォロー体制

研修

活動方針 生徒理解
安全対策 指導法



資質向上

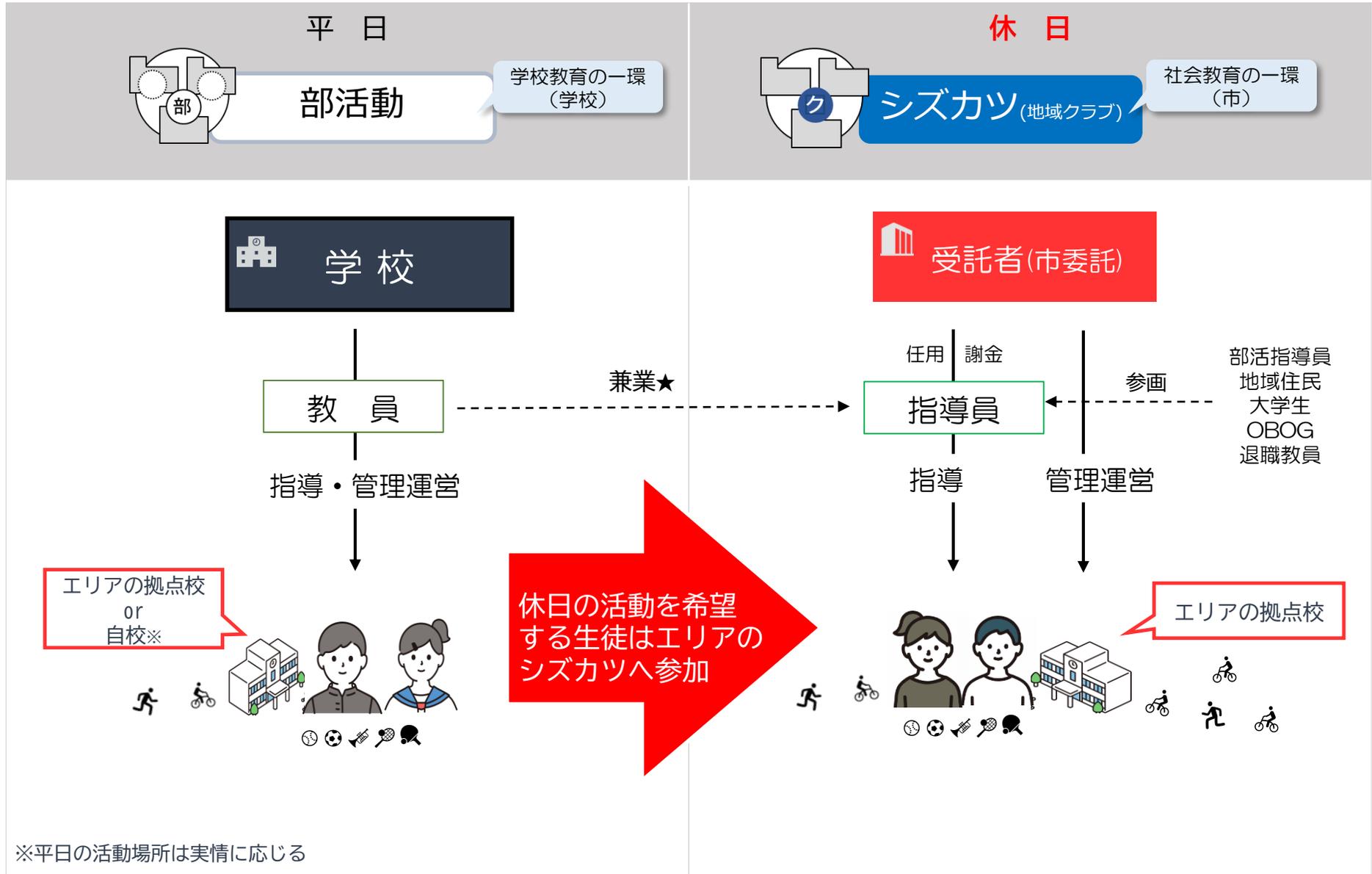


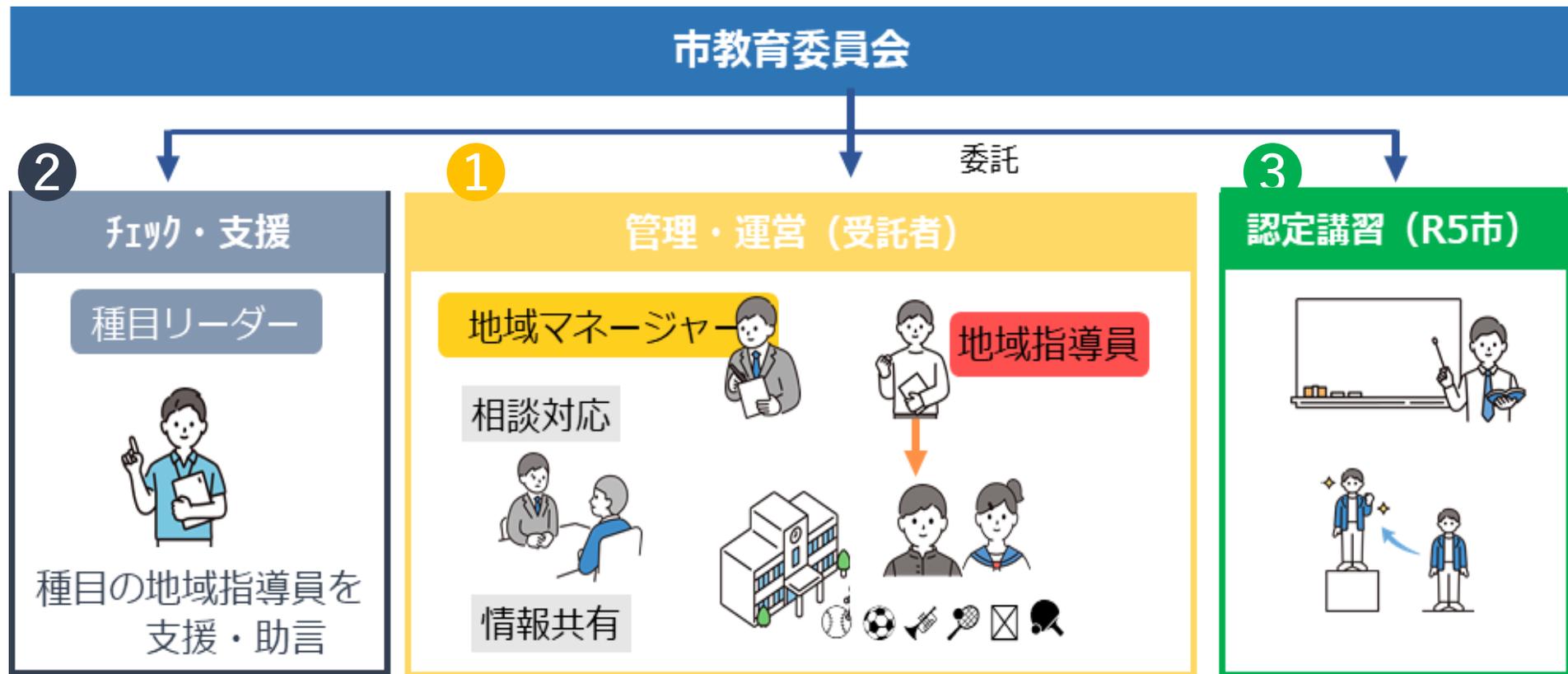
- 指導水準の確保
- 自身のやりがい
- 地域への貢献

市民・部活動指導員・兼業教員らの参画

令和8年度 実施イメージ

※2年間の実証事業を経て体制を決定





- ① 休日の活動を学校管理下から切り離し、受託者が「シズカツ」の**管理運営**を行う。
運営ノウハウの獲得、指導員や学校側の負担や事業費を把握する。
- ② 種目リーダーによる訪問指導を実施し、生徒の安心安全な活動を保障するためのチェック体制や指導員育成のための相談体制の有効性を検証する。
- ③ 指導員に対して**市主催の講習会**を開催し、指導員の資質を担保するために有効な研修の在り方や運用面の課題を検証する。

実証事業① (受託者による管理運営)

葵①	城内中	東中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
葵②	観山中	安東中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
葵③	西奈中	竜爪中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球			吹奏楽	
葵④	籠上中	賤機中	井川 梅ヶ島 玉川 大河内	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽	
葵⑤	末広中	服織中	安倍川中	粟科中 太山中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽
駿河①	大里中	中島中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽	
駿河②	長田西中	長田南中	城山中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽
駿河③	高松中	南中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
駿河④	東豊田中	豊田中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
清水①	清水一中	清水二中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス		女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
清水②	清水三中	清水四中	清水五中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	男テニ	女テニ	卓球				吹奏楽	
清水③	清水七中	清水八中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
清水④	清水六中	清水飯田中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽	
清水⑤	清水庵原中	清水袖師中	野球	サッカー		陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー					女卓球			吹奏楽	
清水⑥	興津中	由比中	蒲原中	両河内中 小島中	野球	サッカー		男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン		女テニ				吹奏楽	

(設置イメージ)



団体	静岡エスアカデミア スポーツクラブ		VELTEX スポーツエンタープライズ	
エリア	駿河②		清水②	駿河①
種目	ソフトボール	剣道	卓球	女バスケ
指導員	兼業教員 外部指導員	兼業教員 兼業教員 外部指導員	外部顧問 社会人 社会人	兼業教員 兼業教員 社会人

マネージャーによる管理運営

計画集約
時間管理

学校と
調整

施設調整

相談対応
事故対応

	5月	6月	7月	8月	9月	
大里, 中島 / 清水三, 四, 五 [女子バスケ] [卓球]		受託者 決定	関係者 打合せ	保護者 協力 依頼文	保護者 説明会	→ 実証開始
(VELTEX スポーツエンタープライズ)	学校説明 (各校長)	全校周知 (改革概要チラシ)	講習会			
長田南, 長田西, 城山 [剣道・ソフトボール]				受託者 決定	関係者 打合せ	
(静岡エスアカデミア・スポ ーツクラブ)				保護者 協力 依頼文	保護者 説明会	→ 実証開始

実証事業②（種目リーダー）

葵①	城内中	東中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	吹奏楽				
葵②	観山中	安東中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	吹奏楽				
葵③	西奈中	竜爪中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球		吹奏楽				
葵④	籠上中	賤機中	美和中	井川 梅ヶ島 玉川 大河内	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽	
葵⑤	末広中	服織中	安倍川中	藁科中 太山	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽	
駿河①	大里中	中島中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽			
駿河②	長田西中	長田南中	城山中		野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道	柔道	吹奏楽
駿河③	高松中	南中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽		
駿河④	東豊田中	豊田中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン	男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽		
清水①	清水一中	清水二中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス		女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽		
清水②	清水三中	清水四中	清水五中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	卓球				吹奏楽		
清水③	清水七中	清水八中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽		
清水④	清水六中	清水飯田中	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー		男テニ	女テニ	男卓球	女卓球	剣道		吹奏楽		
清水⑤	清水庵原中	清水袖師中	野球	サッカー	陸上	男バス	女バス	男バレー	女バレー					女卓球				吹奏楽		
清水⑥	興津中	由比中	蒲原中	両河内中 小島中	野球	サッカー		男バス	女バス	男バレー	女バレー	バドミントン		女テニ				吹奏楽		

設置イメージ



種目リーダーによる訪問



定期的な
視察

安心安全
チェック

助言相談



R5

剣道	ソフトボール	バスケット	卓球
教諭	企業チーム 監督	元校長	元校長

- ・活動見学と指導者からの聞き取り等
- ・チェックシートの作成と提出

実証事業③ (認定講習会)

実施内容

参加者	指導員候補者10名	
求める資質	<ul style="list-style-type: none"> ・シズカツの活動方針への理解 ・思春期の子どもの発達理解 ・ケガや熱中症等の対応への理解 ・主体性を伸ばす指導 	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・シズカツ指導員として必要な知識、技能の習得を目指す。 ・シズカツ指導員講習カリキュラム作成に役立てる。 	
1日目	①シズカツの活動方針 ・改革の方向性や現状のガイドラインと本講習会の位置づけなどを講義	市教委
	②子どもたちの主体性を引き出す指導 ・体験型講義を通して指導員に求められるコーチング研修を実施	エスアカデミア 小野澤 宏時様
2日目	③活動における留意点 ・指導の5原則に基づき、指導者としておさえない指導の留意点、生徒理解等を講義	市教委
	④ケガや熱中症の対応 ・専門的な見地から、活動中におけるケガの対応や熱中症対策を講義	静岡医療学園 原田 菜央様

R5の流れ



成果・課題

講習は受講者に好評であったが、実際に運用を開始する中で課題が見えた。

〈講習会の量（時間・日数）について〉

多い… 1人
普通… 9人
少ない… 0人

〈内容について〉

参考になった… 10人
参考にならなかった… 0人

〈他にどのような内容があるといいか〉

- ・ 今回の内容はすべて必要
- ・ 食生活や栄養学の知見
- ・ 色々な競技の話聞いて、交流ができると嬉しい。
- ・ プレイヤーズセンターを実践している方の指導のポイント。

- ・ 最新の指導法やケガの対応などを知る機会となり、指導者のマインドセットを行い一定の指導の質を保障することにつながると思われる。
- ・ 2日にわたり合計4時間程度、市民参加するに量的にも適正であった。

〈課題〉

- 市主体の本講習会を事前に受講することを必須としたため、**受託者が指導員を途中配置ができず、円滑な運営への障害となる可能性**がでてくる。
- 今後規模拡大にあたり、講習会の開催について受託者との調整が必要となることも考えられる。
- 任用元である受託者が、事前に安全管理等の必要最低限の研修は担った方がいいのではないか。



大会参加
大会役員

平日部活

利用者負担

設置種目

連携方法

施設利用

将来の「学校スポーツ」を皆で創るための情報プラットフォーム

イマチャレ製作委員会

(2021年発足)

学校教材
(本部事務局)



学校教材サービス企業
エデュシップ

全国
メディア

読売新聞

全国メディア
読売新聞社

教育・研究



UNIVERSITY OF
TSUKUBA

国立大学法人 筑波大学
体育スポーツ局

後援： スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY 経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry

イマ.チャレにて「学校スポーツ改革」に特化した
日本初の学校向けメディアを発行
(現在約3,000の学校・自治体が登録)

イマ.チャレ



現状の指導体制における課題

◆部活動数に対する教員数

12校 不足	31校 充足
-----------	-----------

◆顧問の競技経験

51% 経験なし	49% 経験あり
----------	----------

◆負担に感じること(上位3)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 大会運営、準備 |
| 2 | 休日の活動 |
| 3 | 協会等の活動/
部員のトラブル |

◆休日指導の条件(上位3)

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 指導可能な種目なら |
| 2 | 適度な活動時間なら |
| 3 | 複数の指導体制なら |

R2 部活動指導意識調査
(中学教員802名回答)

R3実践研究「地域と教員で協働する地域部活動」より

平日(学校部活)

休日(地域部活)



教員



地域指導員

休日は教員が立ち会わなくても地域の指導者のもとで学校管理外の活動を実施。



休日の地域部活動について総合評価(生徒70名回答)

○専門的でわかりやすく技能が上達できた

○気軽に聞きやすい

○平日の練習への応用につながった

●先生と言っていることが食い違うことがあった

★兼業の許可について

- 児童生徒の学びの保障や教員の健康管理の観点から学校運営に支障がないこと。
- 学校における時間外との合計時間が単月100時間未満、複数月平均80時間以内であること。(右図)
- 本人が休日の活動を希望していること。

80時間以内/月

例

時間外在校時間※



シズカツ指導員



協会での役員等

※静岡市は「学校における働き方改革プラン」において令和8年度には、時間外在校等時間【月45時間】を越える教職員の割合を0%とする目標

<p>① エリア制の設置条件、対象生徒について、教えてください。</p> <p>教育委員会が定めたエリア内の関係校において、エリア制部活動の設置を協議し、教育委員会に申請した上で設置となります。対象生徒は、エリア内の中学校に在籍する生徒とし、在籍校の設置の有無に関わらずエリア制部活動に参加することができます。</p>
<p>② 拠点校とは何ですか。拠点校は年度で変更することはできますか。</p> <p>該当する種目について主に活動する学校を拠点校とします。拠点校の決定には、施設面などを考慮し、決定してください。なお、関係校の実情に応じて年度ごとに拠点校が変更することも可能です。</p>
<p>③ 必ず平日も拠点校で活動してなくては行けませんか。各学校で別れて活動することは可能ですか。</p> <p>1つのチームとして、拠点校で共に活動することを原則とします。ただし、両校に1名ずつ指導者を配置する指導体制において、季節や行事など各エリアの実情に応じて、平日においては別々に活動することも可能です。ただし従来、部活動が設置されていなかった学校での活動は認められません。</p>
<p>④ 活動場所は、拠点校でのみですか。</p> <p>主に拠点校での活動となりますが、地域の実情や移動負担のバランスを考慮して、拠点校以外の学校でも活動することも可能です。ただし、その際は、施設面の整備、管理などを条件とし、関係校で連携をとり決定してください。</p>
<p>⑤ 設置を検討する部活動の目安はありますか。</p> <p>目安は設けませんが、適正人数※を下回る人数で活動している種目や安全面を含めてより専門的な指導者が求められる種目から検討の対象にするのが良いかと思います。※2学年の合計で競技人数の2倍以上の部員数での活動が望ましいと考えます。例) 野球なら18名。</p>
<p>⑥ 合同チームとエリア制部活動の違いは何ですか。</p> <p>合同チームは、あくまでも大会出場のための一時的な救済措置であるため、人数の変動により見直す必要があります。</p> <p>エリア制部活動は、市教委により定められたエリア(区分け)で新設された1つの部として単一校の部活動と同様であるため、人数の増加に関わらず計画的な活動ができるとともに、部活動の設置されていない近隣校の生徒も参加が可能となります。</p>
<p>⑦ 活動時間はどうなりますか</p> <p>従来どおり、ガイドラインに則り、活動することを原則と考えています。ただし、拠点校において、平日の活動時間の確保が難しく、子どもたちの活動の充実のために学校間で必要と認めた場合は、活動時間〈週4日9時間程度〉に配慮し、別の活動日(曜日)で活動することも可能とします。</p>
<p>⑧ 中体連での大会参加はできますか。中体連以外の大会は、どうなりますか。</p> <p>静岡県中学校体育連盟において、エリア制部活動を単一校の部活動と同様に取り扱う旨の承認を得ており、大会出場が可能です。一部を除き、市内の協会、連盟にもエリア制部活動の大会参加については、ご理解を頂いており、市教委としても今後も理解を広めていきます。</p> <p>ただし、登録や大会参加の条件については、各大会の主催者にご確認ください。</p>

<p>⑨ エリア制のチーム名は、どうしたらいいですか。</p> <p>チーム名については、生徒間や学校間で協議の上、決定してください。なお、エリア制部活動は、吸収合併ではなくエリアにおいて部を新設するという考え方であるため、どちらかの一方の校名でなく、両校に配慮したものや地域性を考慮した名前が望ましいと考えます。また、同じエリア内で複数のエリア制部活動を設置した場合、種目ごとにチーム名の変更はせず、同様のチーム名を使用してください。</p>
<p>⑩ 3校によるエリアですが、そのうち2校でエリア制部活を設置してもいいですか。</p> <p>全ての学校が参加して設置することを原則とします。しかし、周知理解のため準備期間を要する場合もありえるため、令和8年度までに先行して実施する場合は、設置当初は2校のみの設置も可とします。ただし、エリアの関係校で事前に協議しておく必要があり、将来的にエリア内で1つのエリア制部活動が設置されるよう、計画的に周知を進めてください。</p>
<p>⑪ エリア外の他校と、合同チームは可能ですか。部員が増えたら学校単位に戻ってもいいですか。</p> <p>エリア制部活動は、単一校の部活動同様に、<u>1つの部</u>として設置となります。よって、試合出場に要する人数が満たない場合は、単一校と同様に、他チームとの合同チームは可能となります。逆に、部員が増えたという理由で学校単位に戻ることはいけません。</p>
<p>⑫ 活動中のケガの対応と事故報告書はどうすればいいのですか。</p> <p>指導者は、応急処置や救急搬送等の必要な対応を行った後に、在籍校及び保護者への連絡を行います。後日、在籍校の担当教員は、事故報告書の申請や保護者との情報共有を行ってください。</p>
<p>⑬ 拠点校以外の参加生徒もスポーツ振興センターの保険対象となりますか。</p> <p>所属校の部活動全体計画及び月別計画に該当部活動の設置を明記し、学校の教育活動とすることで、活動中や行き帰りのケガは、スポーツ振興センターの対象となります。ただし、保護者の自家用車による送迎でのケガは、対象とならない可能性があります。手続きは、在籍校の職員が行ってください。</p>
<p>⑭ 年度初めからでなく、中体連や夏季コンクール後など、年度途中から設置することができますか。</p> <p>できます。中体連後の新体制発足に合わせて設置することは十分に考えられます。着実に実施するために、あらかじめ教職員、生徒、保護者、小学校等に周知し、理解を得ておくことが重要と考えます。</p>
<p>⑮ エリア制部活を設置後、部員数が不足した場合の活動はどうなりますか。エリア制でも改廃もありますか。</p> <p>現行ガイドラインと同様に、現在設置されている部活動で、1年生、2年生を合わせて公式戦に出場するための人数を満たさない状況で、翌年の1年生の入学後も出場のための人数が満たされない場合、改廃の対象とし、協議・決定してください。</p>
<p>⑯ 活動場所までの移動は、どうなりますか。</p> <p>移動については、保護者の責任と判断において、徒歩や自転車や公共交通機関を利用することとします。なお、平日の登校時の自転車の使用については、在籍校の指示となります。</p>

(宛名) 学校教育課長

令和5年度 エリア制部活動設置申請書

エリア 関係校	サンプル ○○中 △△中
---------	--------------

チーム名	オール長田
------	-------

下記の通り、令和5年度よりエリア制部活動を設置します。

仮でも構いません。正式に決まらないうちに学校側でご連絡ください。

(1)全校参加による実施

種目名	開始時期	拠点校	平日における活動形態	部活動指導員の配置希望
1 ソフトボール	4月から実施	長田南	拠点校にて活動	有
2 サッカー	8月から実施	長田西	各学校での活動	無
3				

将来的にはエリア内全校で、1つが原則だが先行的に実施することが可能。QA10

(2)一部学校同士で実施

種目名	開始時期	拠点校 (参加校)	平日における活動形態	部活動指導員の配置希望
1 剣道	4月から実施	長田南 (城山)	拠点校にて活動	有
2				
3				

提出元

中学校	氏名
-----	----

提出日を過ぎても年度内であれば、受付可能。

先

〒 11月22日

静岡県教育委員会学校教育課	教育課題係
---------------	-------

令和5年度 エリア制 野球部 活動計画書【記入例】

1. 概要

エリア	タテから選択	種目	拠点校	中学校
			拠点校	中学校

◎拠点校

学校名	A 中学校	B 中学校	C 中学校	中学校
3年	3	3	0	
2年	1	2	1	
1年	4	2	1	
指導者	〇〇教諭	〇〇教諭		
指導者	〇〇外部指導員			
連絡担当			〇〇教諭	

◎拠点校の指導員を中心に作成し関係者にて共有してください。
 ○入部前に生徒や保護者に活動計画を示してください。

2. 活動計画

曜日	火	水	金	土	日
活動形態	各校	各校	合同 ※秋以降は再検討	合同	原則、土曜に活動
活動場所	A中学校 B中学校	A中学校 B中学校	A中学校		原則、A中学校だけが負担が偏らないよう適宜調整する。

・オフトライインに準拠し、週4日以内の活動とします。
 ・平日の活動形態は、関係校の実態や時期に応じて適宜調整します。なお活動時刻は、会場校に依ります。
 ・既存の部が設置されていない学校での平日の活動は認められていません。

時期	主な内容	大会予定
4月～7月	・夏の大会に向けて、ミーティングを行い課題を明らかにして克服する	・春の大会(5月) ・中体連(7月)
8月～11月	・新人戦に向けて目標を定め、練習方法を工夫しながら課題を克服する	・新人戦(11月)
12月～3月	・個人の課題を意識しながら、その克服状況を明らかにし、さらなる向上を図る。1年生大会(2月)	

3. その他

参加する大会に関しては、生徒や指導者、保護者の意思や負担を考慮した上で決定してください。

・各校の連絡担当教員は、指導者及び保護者との連絡調整、生徒の相談役となります。
 ・在籍校の字校行事と活動が重なった場合は、在籍校の活動を優先してください。
 ・活動中や移動中のケガについては、スポーツ振興センターの対象となるため在籍校の教員が手続きをします。
 ・その他、指導者より示された約束事やルールを理解し、遵守してください。

部のルールや約束事なども適宜、加筆してください。
 別紙：運営分担表等を用いて役割を確認してください。
 センターサーバー内に入部届等の参照資料が添付されています。

・活動場所への移動については、保護者が責任となりまに定めてください。
 ・保護者会等の組織に加入し、生徒の活動をサポートしてください。
 ・毎月の部費は、入部時に必要な費用は、本活動計画を承諾後に、入部届を在籍校の担当教員に提出してください。

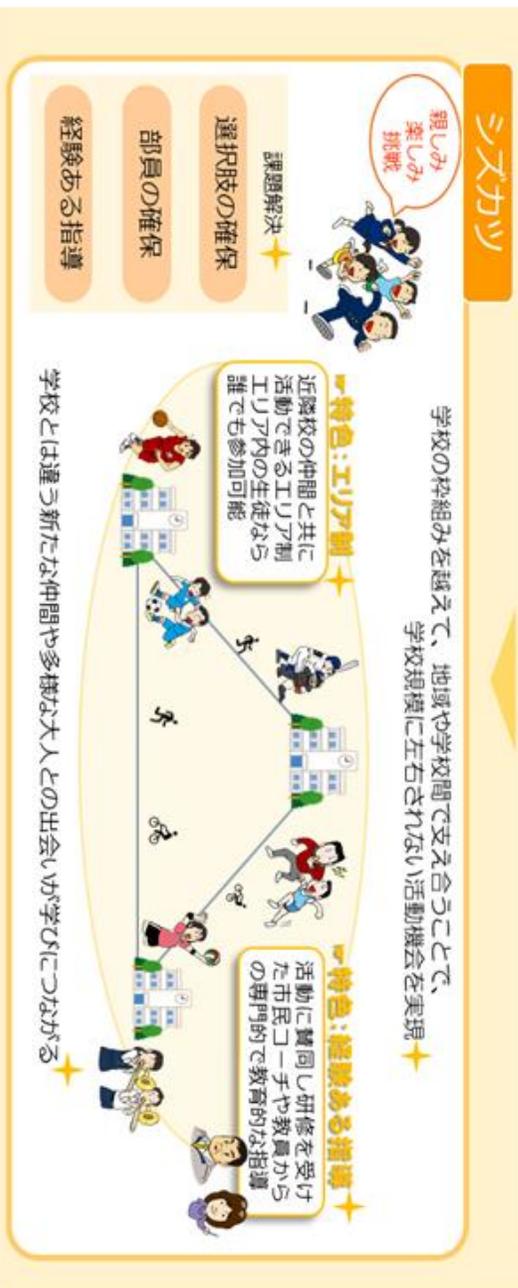


部活動は、これまで任意の活動であるものの魅力ある教育活動として実施されてきました。しかし、少子化により平成の30年間で本市の中学生は5割減少するなど学校規模が縮小され、部員の不足、休廃部による選択肢の減少、指導者の不足などの課題がみられ、従来の学校ごと運営する部活動では、持続可能ではない状況になりつつあります。

そこで、静岡市では、抱える課題を解決し、学校規模に左右されず子どもたちがスポーツ・文化芸術に親しむことができる機会を保障するため、市が主体となり地域の皆様や学校の協力をいただきながら、中学生の活動を支えていくシステム構築を目指しています。

▼部活動はどう変わる？

「部活動」から静岡市の新しい「ミスカツ」「ミスカツ」へ



▼いつから変わっていくの？

- 令和8年度、部活動に代わる地域クラブ活動「ミスカツ」を休日において全市展開することを目指しています。
- 令和5年度、6年度の2年間は、市内数校において実証事業を行う予定です。

～全国的に、様々な形で公立中学校の部活動の地域移行が進められています～

国の方向性

- ・まずは、休日の部活動を段階的に地域移行する。
- ・令和5年度から3年間を改革推進期間とする。

国の部活動改革に係る情報は裏面又は右記QRよりご覧ください。⇒ [スポーツ庁](#) [文化庁](#)

実証事業実施校の該当部活の保護者へ配付

部活動改革に係る実証事業の御協力について（依頼）

平素から本市の学校教育につきまして、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。静岡市の部活動は、人間形成に資することを目的とし魅力ある教育活動として実施してまいりました。しかし、少子化に伴う学校規模の縮小や国の部活動改革の方針を受け、本市においても、子どもたちがスポーツ・文化芸術に親しむ機会を保障するため、部活動に代わる新たな地域クラブ活動「シズカツ」の全市展開に向け準備を進めているところです。

そのため、令和5年度は、国の地域クラブ活動体制整備事業の一環として、**オール長田のソフトボール部、剣道部**に御協力いただき、実証事業に取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、下記の内容を御確認いただき、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 事業目的

地域クラブ活動「シズカツ」に係る実施体制を構築するため、対象となるエリア制部活動※において実証事業を行うことにより成果と課題を洗い出す。

2 事業内容

市の委託団体「特定非営利活動法人静岡エスアカデミア・スポーツクラブ」による休日の地域クラブ活動「シズカツ」の実施

3 事業期間

令和5年9月～令和6年3月

4 その他

- ・本事業における新たな費用負担はありません。
- ・本事業の概要については、裏面をご覧ください。
- ・本件についての問い合わせは下記までお願いします。

※エリア制部活動：学校の枠組みを越えた近隣校のエリアでチームを編成する部活動。今年度の実証事業では、市内4つのエリア制部活動を対象に実施予定。

〈問い合わせ先〉

学校教育課 教育課題係

電話 354-2521



- ▶ 本市では令和8年度までに、部活動に代わる「シズカツ」を休日において全市展開することを目指しています。そこで令和5年度、6年度の2年間に於いて、市内数校において実証事業を行います。
- ▶ 今年度は、休日の活動を、学校の管理下から切り離し、市から委託された運営団体が「シズカツ」として管理運営を行う実証事業を実施します。
- ▶ 実証期間において、新たな費用負担はありません。9月以降の活動における詳細は、後日、運営団体から説明を行います。

▼実証事業の概要

〈実証期間〉 令和5年9月から令和6年3月まで
 〈活動回数〉 期間内 休日34回程度
 〈活動時間〉 1回あたりの3時間（ガイドライン同様、ただし大会等は除く）

	平日 エリア制部活動	休日 シズカツ
主体	学校 学校教育（学校管理下）	静岡市・運営団体 （特定非営利活動法人静岡エスアカテミア・スポーツクラブ） 社会教育（学校管理下外）
参加者	近隣校の仲間	同左
場所	学校施設	同左
指導者	教員・部活動指導員	地域指導員（兼業教員、部活指導員他）
移動	保護者の責任の下	同左
大会参加費等	保護者（保護者会）	同左
保険	災害共済給付制度 （日本スポーツ振興センター）	民間保険（運営団体から後日説明） ※実証事業のため利用者負担なし

平日

エリア制部活動

休日

シズカツ



実証事業実施校の該当部活の保護者へ配付

令和5年8月9日

長田エリア 保護者様

静岡エスアカデミア・スポーツクラブ
代表 山崎俊昌

令和5年度 中学部活動シズカツに関する保護者説明会のご案内

拝啓 時下ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、私ども「静岡エスアカデミア・スポーツクラブ」は、静岡市部活動改革シズカツの事業推進を請け、9月より、長田エリア（長田南中、長田西中、城山中）のソフトボール部及び剣道部における、土日祝日の部活動を運営することとなりました。つきましては、保護者様向けの説明会を下記の通り開催させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。これを機会に部活動シズカツおよび、当社に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

ご多忙中とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。 敬具

記

日時：令和5年8月21日（月）19時～

手法：Zoom オンライン説明会

主催：静岡エスアカデミア・スポーツクラブ

協力：静岡市教育委員会 学校教育課

参加希望の方は、下記QRコードより申込して下さい。

申込後、Zoom へのアクセス情報を返信させていただきます。



資料⑨

		市教委	学校	事務局	マネージャー	主 地域指導員	地域指導員	保護者会
1	活動方針の決定	○						
2	拠点数や活動拠点の決定	○	○					
3	施設の事前調整		○		○			
4	学校施設及び物品の使用管理					○		
5	学校との連絡窓口				○			
6	実施計画書、報告書の作成			○				
7	月の活動計画				集約	作成		共有
8	参加生徒の入部受付		(情報共有)	○				
9	参加生徒の保険加入			○				
10	地域指導員の任用			○				
11	地域指導員のライセンス認定/講習会	○				参加	参加	
12	地域指導員の欠員補充				○			
13	地域指導員の勤怠管理				○			
14	地域指導員の手当支払、保険加入			○				
15	緊急対応マニュアルの作成			○				
16	活動の中止判断				○	○		
17	練習・大会での指導監督					○	○	(共有)
18	活動中の安全管理、緊急対応					○	○	
19	平日教員との情報共有		(共有)			○		
20	参加状況の把握		(共有)		(共有)	○	○	(共有)
21	保護者との連絡調整及び相談対応				○			
22	会場への移動、荷物運搬							○
23	道具等の購入							○ (部費)
24	大会登録、協会登録					○		○ (部費)
25	保護者への説明会	協力	協力	○	○			

役割分担イメージ
R5実証事業